

25項目の指標及び7分野・重点課題の指標

健康まえばし21(第2次計画)は、国の健康日本21における53項目の指標のうち、25項目を抜粋し、本市の指標としており、目標値は国に準じます。平成30年度の間接評価において、目標を達成している項目については、他の計画等を参考に新たな目標値を設定しています。

※単年度での比較は適しませんが参考として示します

25項目の指標		中間評価時(H29)と H30年度の比較※
(1)健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の平均の延伸)		悪化
(2)75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少		悪化
(3)脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少		悪化
妊娠期・乳幼児期・学齢期の健康(18歳以下)		
(4)朝・昼・夕の3食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加		悪化
(5)共食の増加(食事を1人で食べる子どもの割合の減少)		最終年度のみ
(6)全出生数中の低出生体重児の割合の減少		改善
(7)肥満傾向にある子どもの割合の減少		悪化
(8)3歳児でむし歯のない者の割合の増加		改善
(9)12歳児の1人平均むし歯数の減少		改善
青年期・壮年期の健康(19歳～64歳)		
(10)朝食欠食者の減少		悪化
(11)運動習慣者の割合の増加		悪化
(12)40歳で喪失歯のない者の割合の増加		改善
(13)60歳で24本以上の自分の歯を有する者の割合の増加		悪化
(14)40歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少		改善
(15)50歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少		悪化
(16)60歳で進行した歯周病を有する者の割合の減少		悪化
(17)特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上		改善
(18)適正体重を維持している者の増加(肥満[BMI25以上]、やせ[BMI18.5未満]の減少)		悪化
(19)合併症(糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数)の減少		悪化
(20)血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少		悪化
(21)がん検診受診率の向上		改善
(22)健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加		改善
高齢期の健康(65歳以上)		
(23)低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加抑制		改善
(24)高齢者の社会参加の促進(就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加)		改善
(25)認知症サポーター数の増加		改善
7分野・重点課題の指標		
栄養・食生活	バランスのとれた食事をするよう心がけている市民の割合の増加	最終年度のみ
	内臓脂肪症候群の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合の増加	最終年度のみ
	週5日以上家族や友人と楽しく食卓を囲む市民の割合の増加	最終年度のみ
休養・こころの健康	産後1か月でEPDS(エジンバラ産後うつ病質問票)9点以上のじょく婦の割合の減少	改善
	睡眠で休養が取れていない者の割合の増加抑制	改善
	誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現(自殺者数の減少)(人口10万対)	悪化
たばこ	妊娠中の喫煙をなくす(妊婦の喫煙率の低下)	改善
	成人の喫煙率の減少	改善
アルコール	妊娠中の飲酒をなくす(妊婦の飲酒率の低下)	改善
	適量飲酒者の割合の増加(1日飲酒量1合未満の者の増加)	改善
歯と口の健康	歯科健康診査受診率の向上	悪化・改善
	定期的に歯科健診を受けている者の割合の増加	悪化・改善
	食べる速度が速い者の割合の減少	悪化
健康診査	がん検診要精検者の受診率の向上	改善
重点課題	HbA1c5.6%以上(基準範囲外)の者の割合の増加抑制	改善
	まえばし健康づくり協力店の登録数の増加	H30年度新規事業